

≪騎西特別支援学校の活性化・特色化方針≫

種別	知的障害	学部・学科	小学部・中学部・高等部	R6.5.1 児童・生徒数	(男) 164 (女) 66	計 230
アクセス	<ul style="list-style-type: none"> ・ J R 高崎線 鴻巣駅下車 朝日バス 加須駅行き 「環境科学国際センター前」下車 徒歩 2 分 ・ 東武伊勢崎線 加須駅下車 朝日バス 鴻巣駅行き 「環境科学国際センター前」下車 徒歩 2 分 					
＜教育課程等＞						
<p>個に応じた支援の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 児童生徒一人一人の障害の特性や実態に応じて、個別の教育支援を展開するため、教育支援プラン A・B の他に、アセスメントツールによる実態把握等を行い情報共有し、小中高で連続性のある支援を行っている。 <p>高等部複数教育課程</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 2 年生から基礎教育課程、総合教育課程、応用教育課程の 3 つの教育課程と重複学級用の教育課程に分かれて学習。 <p>重複教育課程（重複学級の生徒個々に合わせた学習を実施）</p> <p>基礎教育課程（身辺自立に役立つ力を向上させ、基本的生活習慣の定着を図る。等）</p> <p>総合教育課程（基本的生活習慣の確立を目指し、主体的に社会生活を送る態度を養う。等）</p> <p>応用教育課程（日常生活に関する理解や技能を高め、基本的生活習慣の習熟を図る。等）</p>						
＜学校行事・部活動＞						
<p>運動会 1 学期に実施。徒競走、各学部の演技や競技、応援合戦など。</p> <p>文化祭 2 学期に実施。ステージでの演劇発表、中学部・高等部は作業学習で作成した製品の頒布。</p> <p>校外宿泊学習</p> <ul style="list-style-type: none"> ○小学部：校外宿泊学習（5 年生：加須方面）：修学旅行（6 年生：栃木方面） ○中学部：校外宿泊学習（2 年生：長瀬方面）：修学旅行（3 年生：千葉方面） ○高等部：校外宿泊学習（2 年生：大滝方面）：修学旅行（3 年生：大阪方面） <p>社会体験学習</p> <ul style="list-style-type: none"> ○小中学部：工場見学、ショッピングモール等 ○高等部：ディズニーランド、エルミ鴻巣（テーブルマナー講座） <p>部活動 高等部が週 3 日実施。陸上大会、バスケットボール大会、サッカー大会に出場。</p>						
＜家庭・地域との連携＞						
<p>保護者 保健や進路、自立活動に関する研修会を実施。</p> <p>地域交流 小学部→芋ほり、中学部→伝承遊び</p> <p>自治会 年に 2 回、種足地区区長との懇談会を実施。</p> <p>国際交流 中学部・高等部が県立不動岡高等学校 A L T との交流を実施。</p> <p>共同学習 地元小中学校・との交流会を実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> 小学部→種足小、中学部→騎西中 <p>支援籍学習 前年度に学区内の小中学校に案内を送付し、年度当初から支援籍学習。</p>						
＜進路＞						
<p>卒業後の進路状況</p> <p>R 5 …通所施設 1 3 名、入所施設 1 名、就職 1 2 名、在宅 2 名、計 2 8 名</p> <p>進路学習</p> <p>高等部 3 年生と語る会、社会人の先輩と語る会、就労支援アドバイザーを招いての学習会</p> <p>産業現場等における実習</p> <p>高等部 1 年から 3 年まで、段階的に就労に向けた支援を実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 1 年【校内実習】 企業や作業所から組立や箱詰めなどの軽作業の一部を委託してもらい、実習を実施。 ○ 2・3 年【現場実習】 企業や作業所・通所施設に 1、2 週間程度行き、実習を実施。 卒業後の進路を決めるうえで一番重要な進路学習となっている ○ 1・2・3・年【デュアル】 1 日の日課の中に、学校での学習と企業や作業所等での実習を行う進路学習。 						



埼玉県立騎西特別支援学校 児童生徒の成長物語

「元気に生き生きと社会の中で」 自立する児童生徒を育成する学校



重点目標

- 1 発達段階や教育的ニーズに応じた専門性の高い授業を展開し、自立活動や体験活動を通して児童生徒一人一人の可能性を伸ばす教育を推進する
- 2 小・中・高の連続性のある進路指導体制を構築し、児童生徒の自立と社会参加に向けたキャリア教育を推進する
- 3 危機管理の意識を高め、事故防止と緊急時に備えた安心安全な学校づくりを推進する
- 4 保護者や地域と協働し、開かれた教育課程の実現と児童生徒の豊かな成長を支える学校づくりを推進する



各学部間の学びの連続性を考えたキャリア教育・コミュニティスクールを活用した地域との連携



専門性の高い授業の展開

- 自立活動専任教員を配置し、個に応じた指導を充実
- ICT機器を有効活用した授業実践（iPad等の活用、プログラミング）



複数教育課程と進路学習

- 高等部2年～4つの教育課程を編成（重複・基礎・総合・応用）
- 就労支援に向けた段階的な現場実習
1年…校内実習
2・3年…現場実習



インクルーシブ教育の推進

- 交流及び共同学習（地元小中学校・高等学校と交流会）
- 地域交流（芋ほり・伝承遊び）
- 国際交流（不動岡高校ALTと）



センター的機能の充実

- 特別支援教育コーディネータを中心に巡回相談（学区の幼・小・中）
- ボランティアの育成・啓発活動
- 支援籍学習による多様な学びの場



学部目標	小学部	中学部	高等部
元気に	○楽しく身体を動かすことを通して、基本的な身体の動きを高めるとともに、 丈夫な身体 を育てる。 ○身の回りのことを 自分でやろうとする 力を育てる。	○ 健康で安全 な生活を営む力を育てる ○日常生活に必要な力を広げ、 自ら行う 力を育てる	○健康に生活する態度を身につけ、明るく前向きに 生きる力 を育てる。 ○基本的生活習慣を確立させ、様々な環境に 適応する 力を育てる。
生き生きと	○遊びや様々な経験を通して 興味関心 を育てる。 ○活動の 見通し を持ち意欲的に学習する力を育てる。	○ 意欲的に学習 し、生活にいかす力を育てる ○気持ちや要求を 表現する 力を育てる	○自ら学び、学んだことを 社会生活にいかす 力を育てる。 ○感じる力を豊かにすると共に、 自分の考えを人に伝える 力を育てる。
社会の中で	○相手からの働きかけに 応じる 力や適切な方法で 伝える 力を育てる。 ○人とのかかわりを豊かにし、大人や友だちと ともに活動する 力を育てる。	○経験を豊かにし コミュニケーション能力 を育てる ○自分の役割を知り、 社会生活に必要な力 を育てる	○思いやりをもって人とかわり、社会の中で 自己を生かす 力を育てる。 ○働くことの意味と喜びを知り、他者と協調、協力して 仕事をする 力を育てる。